

ISO9001 を活用した施工管理と 空頭制限下の応力遮断工事



本工事は、県道46号線埼玉大橋を巻き込む利根川右岸堤防強化工事である。本工事は、築堤盛土による既設橋脚への偏荷重を遮断するため基礎部には鋼管矢板により締切り、橋脚部には鞘管設置により既設橋脚と150mmの空隙を作る応力遮断工事を施した後に築堤盛土を行う工事である。

【工事概要】

工事名 H30佐波堤防強化工事
 工事場所 埼玉県加須市佐波地先
 工期 平成30年9月21日～令和2年2月28日
 発注者 国土交通省 関東地方整備局
 工事内容 河川土工 盛土工 (ICT) 約33,000m³
 法面整形 (ICT) 約7,000m²
 橋梁対策工 鋼管矢板工
 (φ1000×L=30m×64本)
 RCさや管 製作・設置 2か所



ISO9001 外部監査

撮影日：令和元年10月



さいたま大橋直下での鋼管矢板圧入状況



さいたま大橋直下での鞘管設置状況

ISO9001活用モデル工事

本工事はISO9001を活用（全国で4例目）することにより、発注者の監督・検査業務の効率化を図るとともに、施工者の立会の省略や中間技術検査の免除等の負担軽減を期待して平成31年2月より第三者機関MSAに外部監査を委託し、適切なインフラを提供しました。

品質面についても、従来の監督業務を実施した場合と比べ出来形、品質も同等以上であることが第三者機関MSAより報告されています。



完成写真

本工事は、空頭制限下の施工が多く、既設橋脚との接触災害に細心の注意を図り、計画時より綿密な仮設計画をたてて施工に臨みました。特に鞘管設置工時では、発注者と協議を重ねながらより安全な工法を提案し施工致しました。また、ISO9001 活用モデル工事の試行に協力し、発注者と共に暗中模索ではありませんでしたが、品質の高い製品と認めて頂き無事に納めることができました。



東京本店 土木部

竹内祐貴

萩原浩志

小林一大

並岡知幸